



第348号

2018年(平成30年)1月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空満町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6763-5652 FAX.06-6763-5653
公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 竹浦 久司
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

平成三十年

年頭所感

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
会長 竹浦 久司

新春を迎え心からお慶び申し上げます。

公益社団法人大阪府臨床検査技師会を代表し、
日頃からご支援をいただいている皆様にはこの場
をお借りして厚く御礼申し上げます。



さて、昨年の6月14日に公布された「医療法等の一部を改正する法律」において、検体検査における精度管理が、検体検査を業となす施設全般に及ぶものとなり、業務の適正な実施が問われることとなりました。今後も、今以上に臨床検査を基とした医療水準の発展と貢献に寄与していかねばなりません。国民の更なる健康に対する負託に呼応するよう、当会として精度管理の在り方、臨床検査の精度を確保するための標準化の在り方についての向上を図ることが当会の活動目的であります。当会が行う精度管理調査は、調査方法のみならず、用いられる試料の品質、試料配布方法、統計解析・データ分析、システム、調査委員等、それぞれの質的負担が約束されるべきであります。

今年の干支は、「戊戌」（つちのえのいぬ）で、「変化」する年と言われています。歴史を見ると変化は「待っていて起こるものではない」ということです。変化には勇気と思い切りが必要であると思います。

当会の「変化」は、今年から行政や関連団体、会員の情報交換の場として、新年互礼会を1月8日（月・祝）ホテルグランヴィア大阪にて開催します。また、昨年からはじめた大臨技医学検査学会を2月12日（月・祝）グランキューブ大阪12Fで開催します。テーマは「Next step from First step ～のばせ検査のころこ・技術・研究～」前回同様若い技師による運営となっていますので学会に参加して、若い技師のパワーとアイデアを体験していただければと思います。

今年こそは臨床検査の業界に携わる団体や企業が臨床検査の必要性和価値を高める努力を目標に一丸となることが必要であると考えています。これからもどうかご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。末筆ながら会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

渉外部からのお知らせ

府民
公開講座

平成29年度 大放技・大臨技合同フォーラム

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 『縁の下での力持ち「甲状腺」知られざる役割』

縁の下での力持ち「甲状腺」の検査について、診療放射線技師と臨床検査技師それぞれの立場よりわかりやすくお話し、医師の立場よりその治療方法についてご講演いただきます。

府民公開講座となっておりますので、職場の他職種の方、ご家族、お友達など、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

教育講演

1. 「甲状腺機能を調べる血液検査」

講師：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部
増田 詩織

2. 「甲状腺エコー検査の実際」

講師：相生病院 経営企画室 小島 和也

特別講演

「甲状腺疾患の検査と治療方法:最近の話題」

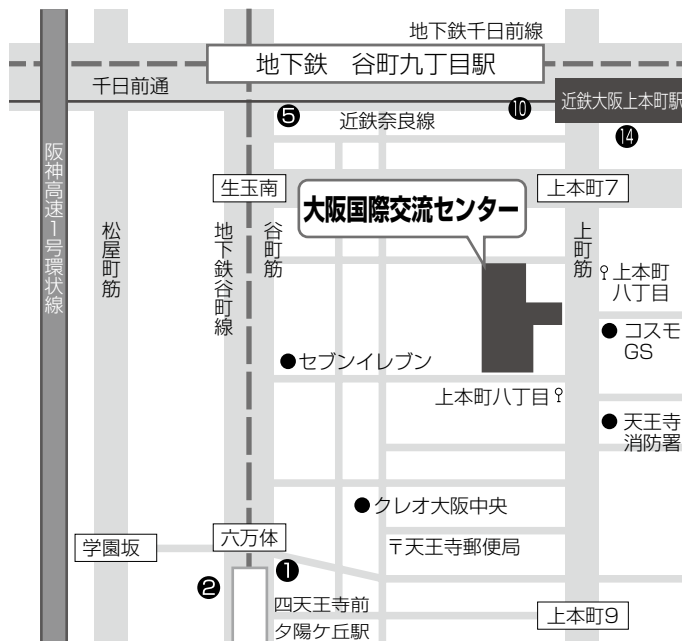
講師：隈病院 内科副科長 西原 永潤

日時 平成30年1月27日(土) 13:55~16:35

会場 大阪国際交流センター 小ホール

参加費 無料(どなたでも参加いただけます)

連絡先 大阪府臨床検査技師会
TEL: 06-6763-5652(月~金 13:00~16:00)



渉外部からのお知らせ

府民
公開講座

平成29年度 大臨技 手話講演会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 『医療現場に必要な手話』

講師 合同会社チームヒューマン 保健師・精神保健福祉士 徳永 京子

この手話講演会は『患者さんにやさしい病院づくり』を目的に開催しています。

みなさんの検査室には、聴覚障害者の方が来られたことがありますか？

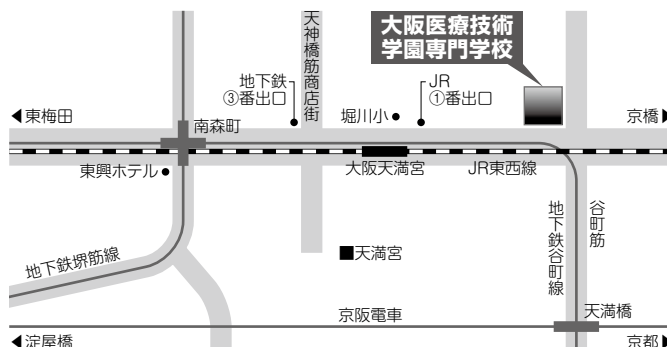
病院に来られた聴覚障害者の方がどのように困っているかを徳永先生に紹介していただき、それにあわせて、その場面で使う手話を、楽しくわかりやすく教えていただきます。職種に関わらず、多数のご参加をお待ちしています。なお、当日は会場校の学生も参加する予定です。

日時 平成30年2月3日(土) 14:30~16:30

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 無料

連絡先 市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
E-mail: akane@mub.biglobe.ne.jp



学術部 免疫化学検査部門からのお知らせ

免疫化学検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 「糖尿病と臨床検査」

よくみる糖尿病ですが、一度整理してみませんか？糖尿病の現状や診断基準、HbA1cの各種測定法の違いや他の関連マーカーの使い方・考え方を東ソー株式会社の牧先生にお話ししていただきます。

さらに糖尿病患者さんと向き合っている済生会野江病院の野村先生に現場の薬剤師が何をどのように考えているかお話ししていただきます。幅広い内容となっており日常業務に役立てていただける内容となっています。たくさんの方の参加をお待ちしております。

- 1 糖尿病の基礎及び関連マーカー
講師：東ソー株式会社 バイオサイエンス事業部
カスタマーサポートセンター 牧 浩司
- 2 薬剤師からみた糖尿病検査
講師：大阪府済生会野江病院 薬剤科 野村 暢彦

日時 平成30年1月11日(木) 18:30~20:00

参加費 会員500円 非会員1,000円

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

連絡先 大阪府済生会吹田病院 臨床検査科 高崎 匡
E-mail: immunoandchem-osaka@yahoo.co.jp

日臨技申請事業 免疫化学検査部門 特別講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 関節リウマチの臨床検査と治療

「関節リウマチの臨床検査と治療」をテーマに特別講演会を開催いたします。各検査項目の目的やフォローアップ検査の意義、治療薬にまで踏み込んだ内容となっています。

女性の発症者が多い関節リウマチは、高齢者のみならず30~50歳代が発症ピークであり早期診断が予後に重要です。また治療は、MTX（メトトレキサート）や生物学的製剤の登場により目覚しく進歩しています。

私たちが日常業務で遭遇する関節リウマチについてこの機会に一緒に考えてみませんか？分野を問わず多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

日時 平成30年1月27日(土) 14:30~17:00
(受付開始14:00~)

会場 大阪医科大学 新講義実習棟 P101

参加費 会員 1,000円
非会員 2,000円

連絡先 大阪府済生会吹田病院 臨床検査科 高崎 匡
E-mail: immunoandchem-osaka@yahoo.co.jp

- 1 「RF検査の施設間差の現状」
講師：社会医療法人大道会 森之宮病院 診療技術部検査科 石田 繁則
- 2 「RAのガイドライン」
講師：大阪府済生会中津病院 BML検査室 吉本 茂
- 3 「フォローアップ検査の目的」
講師：MBL株式会社 医学生物学研究所 営業本部 学術部 診断薬グループ 諫山 卓也
- 4 「関節リウマチと超音波検査」
講師：大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 山下 依未
- 5 「治療薬の進歩」
講師：積水メディカル株式会社 検査事業部 営業部西日本第二営業所 学術担当 金田 幸枝



学術部 病理細胞検査部門からのお知らせ

病理特別講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 子宮内膜病変における最近の考え方

講師 堺市立総合医療センター 棟方 哲

今年度は堺市立総合医療センターの棟方哲先生をお迎えします。テーマは子宮内膜で、WHO分類の解説や分子レベルでみた子宮内膜病変の相違点など、組織診断を中心にご講演いただきます。

子宮内膜病変の新しい捉え方をご一緒に学びませんか。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

日時 平成30年1月26日(金) 18:45~20:15
(受付18:15~)

連絡先 大阪府済生会野江病院 病理診断科 小椋 聖子
E-mail: seiko.ogura@noe.saiseikai.or.jp
TEL: 06-6932-0793(直通)

会場 住友病院 14階講堂

参加費 会員500円
非会員1,000円

生理検査部門 定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

臨床検査技師には馴染みの薄い放射線検査。しかし胸部や腹部の一般撮影やCT・MRIはエコー検査を行ううえで重要なヒントになり、時には答えとなることがあります。

エコー検査技師としてそれらの放射線検査を読影できれば大きな武器になりますが、専門外のため勉強会も少なく勉強の機会も多くはありません。

今回は『ソノグラファーが知っておきたい心臓・血管領域の放射線検査』と題し、心臓・血管領域の一般撮影から最新のCT・MRIまでソノグラファーが知っておきたい知識を簡単にわかりやすく説明してくれます。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

Theme 放射線検査

『ソノグラファーが知っておきたい心臓・血管領域の放射線検査 ～一般撮影から最新CT・MRIまで～』

講師 西宮渡辺心臓・血管センター 画像診断部 技師長 上田 祐二

日時 平成30年1月18日(木) 18:30～20:00
(受付開始18:00～)

会場 大阪市立大学医学部学舎 6階 中講義室

参加費 会員500円 非会員1,000円

連絡先 西宮渡辺心臓・血管センター 臨床検査科
川崎 俊博
E-mail: kawasaki4552@gmail.com

定員 100名(座席数)

※先着順につき、満員の際はお断りする場合があります。
配布資料につきましてもご用意できない場合がございます
のでご了承ください。



大臨技 一般検査フォーラム

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

Theme 「一般検査の知識を、 より深めよう！」

今回の一般検査フォーラムは、一日を通して今までの知識を整理するとともに新たな知識を得ることができるように、盛りだくさんの内容にて開催します。

午前中は、大臨技一般検査部門 部門委員による症例を通して病態を学ぶ企画を行います。午後からは、岡山大学病院 木野村 賢医師をお招きいただきます。締めくくりは、尿沈渣検査のRCPCを行います。宿谷先生による尿沈渣成分からの謎解きにチャレンジしませんか？皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日時 平成30年1月21日(日) 10:00～16:30

参加費 会員(賛助・申請中を含む)1,000円 非会員2,000円

連絡先 近畿大学医学部堺病院 エスアールエル検査室 吉永 治代
E-mail: osaka_ippan@yahoo.co.jp

募集要項 定員 100名

申込み 平成29年12月1日(金)～平成30年1月15日(月)
受付期間 定員になり次第終了します。

申込み方法 下記URLの申込みフォームにて必要事項をご入力ください。

申込URL <http://goo.gl/forms/ndMqP9DOJi>

記載内容 ①氏名 ②施設名 ③施設住所 ④電話番号

⑤メールアドレス ⑥会員番号・会員区分(会員証のある方のみ、日臨技・大臨技などの所属を記載)



※ 申込受付期間外の登録は無効とします。

※ お申込み後、土日を除き2～3日中に確認メールをお送りいたします。

※ 携帯メールは基本的に不可とします。ただしEメールを受信可能な場合のみ可能とします。

※ 施設内での複数名受講は可能ですが、参加者が多数の場合は、調整をお願いする場合がありますのでご了承ください。

会場 関西医科大学総合医療センター南館 2階臨床講堂

10:00～12:00 I 「病態を症例から学ぼう！」

講師：大臨技一般検査部門 部門委員

12:10～13:00 II ランチョンセミナー

「尿中L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)の基礎と臨床の有用性」

講師：富士レボロ株式会社 吉尾 仁美

13:10～14:10 III 「血液浄化療法と血液・尿検査

～腎をいたわり、活かすために～」

講師：岡山大学病院 血液浄化療法部 講師 木野村 賢

14:20～15:20 IV 「新しい尿沈渣成分(丸細胞型の尿細管上皮細胞)の細胞機能と臨床的意義」

講師：東京大医学部附属病院検査部 副技師長 宿谷 賢一

15:30～16:30 V 「尿沈渣成分から病態を推測する」

～尿沈渣検査のRCPC～

講師：東京大医学部附属病院検査部 副技師長 宿谷 賢一

平成29年度 第7回 微生物検査部門定期講習会

評価点
専門教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 症例から学ぶ微生物検査の重要性 ～さあ皆で考えよう～

講師 大阪市立大学医学部附属病院 感染症内科 山田 康一

感染症診療は日々進化しています。それは微生物検査の進化と共にあると考えても過言ではありません。グラム染色、培養検査などのgold standardからPCRやsequence、そしてMALDI-TOF MSへ。そしてその結果を正しく解釈し、治療に生かすことが我々の責任と思い、日々の診療にあたっています。

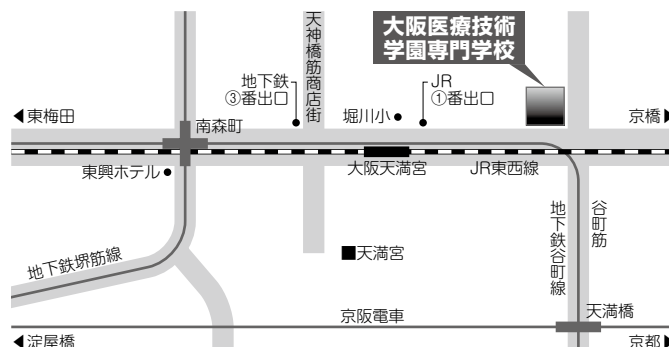
この具体的なプロセスを症例ベースで紹介するとともに一緒にdiscussionしていきましょう。

日時 平成30年1月25日(木) 18:30～20:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 2階大教室

参加費 会員500円 非会員1,000円
*受付時に大臨技会員証を必ず提示してください。
会員証の忘れ及び他府県会員証では、非会員扱いになりますのでご注意ください。

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 仁木 誠
E-mail: niki@med.osaka-cu.ac.jp



検体管理システム部門 実技講習会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
▶評価点▶
日臨技生涯教育点数

Theme 手順書作成のポイントとコツ ～ ISO15189 手順書における JAB の指摘（不適合）と是正～

Microsoft Office のWordを使用して手順書を作成するとき、ISO15189手順書のように“複数人で一つの手順書を作る文書”や“複数人でそれぞれが手順書を作る”場合があり、統一することの難しさや、ソフトの理解度によりできあがる手順書がばらばらになる経験をされた方も多いと思います。

今年度の検体管理システム部門の実技講座では、ISO15189手順書の作成を意識したWordを使用して作成する場合の手順書作成のポイントとコツを実習します。

職場で手順書の管理をされている方、手順書を作成して作成方法に苦労されている方に参加していただき、今後の検査手順の標準化や共有化、手順書作成の効率化や省力化、に役立ていただければと思います。お忙しいとは思いますが、多くの施設の方の参加をお待ちしています。

日時 平成30年1月27日(土) 14:00～16:00

会場 大阪医療技術学園専門学校 コンピュータ室

参加費 1,500円
※日臨技・大臨師会員のみを対象とさせていただきます。

定員 30名
(参加多数の場合はメール到着順とさせていただきます。)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部
山下 亘
E-mail: m0468519@msic.med.osaka-cu.ac.jp
(問合わせ、お申込みの際は、件名のヘッダに「<検体管理>」と付けてください)

内容 講演: 文書管理システムの紹介
(システムにおける文書管理の仕組み)
講師: シスメックス株式会社
ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

実技: 手順書作成のポイントとコツ
講師: 大阪医科大学附属病院 中央検査部 坂井 藍
および各部門委員

申込み方法 メールで<連絡先>アドレス宛てに会員番号・氏名・所属、連絡先・住所をお知らせください。

申込み期限 平成30年1月22日(月)

第2回 認知症対応力向上講習会B

評価点
専門教科
30点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

第1回開催後、次回の早期開催をご要望いただいております。第2回認知症対応力向上講習会Bの詳細が決定しました。今回は2日間の日程で、第1回の内容に加えて、市村輝義先生（元関西医療大学保健医療学部教授、日本認知症予防学会評議員）に認知症の基礎から認定取得までの流れを詳しくお話いただきます。また認知症介護指導者など多彩な認知症関連の資格をお持ちである谷麻子先生（アイ&ピース株式会社常務取締役）をお招きし、実務面での認知症サポーター研修を実施いたします。

盛りだくさんな内容で少しタイトなスケジュールとなっていますが、受講生の皆様にとって有意義な2日間になることは間違いありません。なお、web申込みは既に定員に達していますが、郵送申込み枠に数名分の空きがございます。ご興味のある方は下記連絡先までメールにてお問い合わせください。

日時 平成30年1月13日(土) 12:30 ~ 14日(日) 16:30
(受付1月13日(土)12:00~)

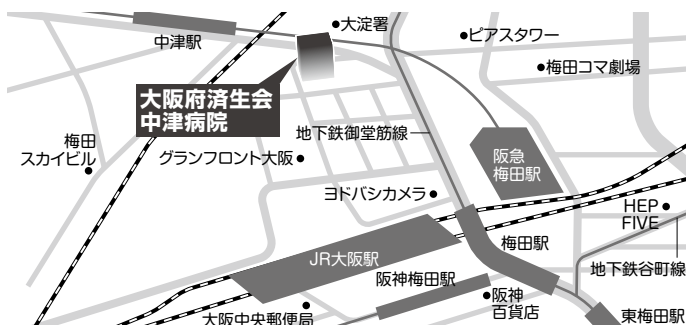
会場 済生会中津病院南棟 2階講堂 **参加費** 2,000円

主催 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会、
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

共催 日本認知症予防学会

連絡先 市立芦屋病院 臨床検査科 上田 一仁
E-mail: liverpool.unitedkingdom@gmail.com

12:30~14:00	認知症サポーター研修 アイ&ピース株式会社 谷 麻子
14:10~15:10	神経心理学【VIDEO講習】 国立長寿医療研究センター 櫻井 孝
15:20~16:20	MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム 検査総論【VIDEO講習】 鳥取大学医学部 浦上 克哉
16:20~17:50	MMSE・HDS-R・物忘れ相談プログラム 検査実習 認定認知症領域検査技師
9:30~10:00	ADAS検査総論【VIDEO講習】 鳥取大学医学部附属病院神経内科 浜田 実央
10:00~11:00	ADAS検査実習 認定認知症領域検査技師
11:10~12:10	認知症と臨床検査・認定認知症領域検査技師 へのステップアップ 日本認知症予防学会 市村 輝義
13:00~13:30	TDAS検査総論【VIDEO講習】 鳥取大学医学部保健学科 河月 稔
13:30~14:30	TDAS検査実習 認定認知症領域検査技師
14:40~16:30	その他の簡易スクリーニング検査 【VIDEO講習】+実習 NPO高齢者安全運転支援研究会 中村 拓司、 認定認知症領域検査技師



日臨技申請事業 平成29年度 初級・職能開発講習会

評価点
基礎教科
20点
(会員証をお持ちください)
【評価点】
日臨技生涯教育点数

日臨技では職能団体としての組織強化を図ることを目的とするともに、臨床検査並びに医療を取り巻く環境の変化等を的確に把握し、時代を先取りできる医療人、職能人としてのスキルアップを図るため、卒後3年から5年の臨床検査技師を対象として、日臨技主催の講習会を下記の通り開催することとなりました。

つきましては、趣旨をご理解いただき、参加いただきますようお願い申し上げます。尚、受講終了後、修了証を交付いたします。

日時 平成30年3月11日(日) **会場** あべのメディックス
9:30~16:30 8階 会議室

参加費 1,000円(当日、受付にてお支払いいただきます)

定員 日臨技に所属する卒後3~5年の正会員
50名

目的 政府が進める「地域完結型医療」の担い手として
多様なニーズに対応できる人材を育成する。

連絡先 天理医療大学 医療学部 山西八郎
TEL: 0743-63-7811

申込み方法 申込み先アドレスに、下記①~⑦を明記してメールにてお申込みください。その際、件名は「29初級・職能開発講習会申込み」としてください。

1.会員番号 2.施設名、所属 3.氏名 4.カナ氏名 5.性別
6.連絡先、電話番号 7.e-mailアドレス (携帯不可)

申込み先 天理医療大学 医療学部 山西八郎
E-mail: yamaha@tenriyoroze-u.ac.jp

プログラム

9:10 受付
9:30 大臨技会長挨拶 オリエンテーション
9:40 宮島喜文 日臨技会長講演
「医療情勢と今後の方向性について」
10:40 休憩
10:50 基調講演「多職種連携医療で活躍する
臨床検査技師」日臨技派遣講師
12:20 昼食休憩
13:20 グループワーク及びグループ別発表
15:20 総合討論
15:50 休憩
16:00 e-learningの紹介
16:30 閉講式



締め切り 平成30年2月9日 (但し、定員になり次第締め切ります)

日本臨床検査医学会・日本臨床検査同学院共催 2018年(第105回) 二級臨床検査士資格認定試験

日本臨床検査医学会、日本臨床検査同学院共催のもとに日本臨床検査医学会制定の認定試験制度により、
2018年(第105回)資格認定試験を東日本・西日本において、下記のごとく実施する。

受験者は希望科目を一つ選び申込むこと。

1年に1科目の受験。また受験には同学院ホームページより1次受付が必要。

1. 1次受付 2018年1月15日(月)～1月31日(水)予定
2. 試験期日 2018年7月または8月 正確な期日はホームページに掲載。
3. 試験会場 東日本・西日本 詳細はホームページ掲載。
4. 試験科目 (1)微生物学(寄生虫学を含む) (2)病理学 (3)臨床化学 (4)血液学 (5)免疫血清学 (6)循環生理学 (7)神経生理学 (8)呼吸生理学
5. 受験資格 A. 臨床検査技師国家試験に合格し、既に登録を終えて、臨床検査技師の資格を有する者。
B. 願書提出時に、現在の職歴について所属長等の証明書を提出できる者。
上記、A、Bの条件を満たす者。

2018年(第40回) 緊急臨床検査士資格認定試験

日本臨床検査医学会、日本臨床検査同学院共催のもとに日本臨床検査医学会制定の認定試験制度により、
2018年(第40回)資格認定試験を東日本・西日本において、下記のごとく実施する。

また受験には同学院ホームページより1次受付が必要。

1. 1次受付 2018年1月15日(月)～1月31日(水)予定
2. 試験期日 2018年7月または8月の予定 正確な期日はホームページに掲載。
3. 試験会場 東日本(東北、関東)・西日本(東海・北陸、近畿、九州) 詳細はホームページ掲載。
*各会場の定員は120人の予定です。1日目は筆記試験と実技記述、2日目は実技試験の予定
4. 受験資格 A. 臨床検査技師国家試験に合格し、既に登録を終えて、臨床検査技師の資格を有する者。
B. 願書提出時に、現在の職歴について所属長等の証明書を提出できる者。
上記、A、Bの条件を満たす者。

詳細は同学院ホームページをご確認ください。

日本遺伝子分析科学同学院・遺伝子分析科学制度審議会 2018年(第12回初級・第7回一級) 遺伝子分析科学認定士認定試験

遺伝子分析科学認定士制度規則及び施行細則に基づき、2018年遺伝子分析科学認定士認定試験を下記の要綱で実施する。
詳細は日本遺伝子分析科学同学院ホームページでご確認をお願いします。

1. 試験期日 初級: 指定研修会 2018年6月23日(土)(予定)、筆記・実技試験24日(日)(予定)
一級: 指定研修会、筆記・実技試験 2018年6月23日(土)(予定)
2. 試験会場 文京学院大学本郷キャンパス(予定)
3. 定員 (初級)原則として120名
4. 受験資格 ① 分子生物学関連教科を履修した者、またはそれと同等以上の学歴を有する者。
② 分子生物学関連学科を卒業した者。または卒業見込みの者。
③ 一級試験希望者は初級資格者に限る。
* 遺伝子分析科学認定士制度施行細則に掲げる条件(50単位)を受験時に満たしていれば、卒業見込みの学生、社会人ともに受験が可能。
5. 願書提出期間 2018年3月14日～22日(予定)
6. 送付先 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-13 宝栄錦町ビル503
日本遺伝子分析科学同学院 試験係

◆ 2018年更新試験対象者のお知らせ

【一級】 2013年合格者 第1回目の更新:一級(MAS 7～8)

【初級】 2013年合格者 第1回目の更新:初級(MA 460～514)

2008年合格者 第2回目の更新:初級(MA 104～186)

注)第2回目の更新対象者は、第1回目の更新試験合格者が対象となります。

* 遺伝子分析科学認定士の更新手続きは5年毎に必要です。

詳細は日本遺伝子分析科学同学院ホームページでご確認をお願いいたします。

第2回 大臨技医学検査学会実行委員会からの お知らせ

第2回 大臨技医学検査学会

Theme Next step from First step ～のばせ検査のこころ・技術・研究～

学会長 竹浦 久司(多根総合病院)

会期 平成30年 **2/12** 月・祝

会場 大阪府立国際会議場
(グランキューブ大阪)

いよいよ来月開催!! TIME TABLE タイムテーブル

11階			12階						
会場名	第5会場		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	企業展示	学会本部	
室名	1101	1102	特別会議場	1202	1203	12-1	ホワイエ	1201	
8:00									
			受付						
9:00			開会式						
	一般演題3席 (微生物)		教育セミナー	RCPC	形態統合カンファレンス		企業展示		
10:00	一般演題4席 (微生物・チーム医療)								
	一般演題2席(生理)								
11:00									
12:00			ランチョン セミナー (ラボツアー)	ランチョン セミナー (企業自由企画)					
13:00									
	一般演題4席 (生化・免疫・血液・一般)		症例提示 千本ノック	府民公開講座	形態統合カンファレンス				
14:00									
15:00									
16:00									
17:00									

問い合わせ先

第2回大臨技医学検査学会 事務局

E-mail 2ndcomt@oamt.jp

TEL 06-6763-5652

(Eメールでのお問い合わせは、携帯電話以外からお願いいたします。
ご返答に数日を要する場合がございます。ご了承くださいませ。)

臨床検査技師の将来像について思うこと

今後、日本は超高齢化社会を迎えます。高齢者が増えるということは、がん患者と循環器系の病気も増えるということです。この二つが超高齢化社会を襲う疾患になるでしょう。

そうした病気を治療する技術は格段に進歩したことは事実です。かつては心筋梗塞の患者はベッドで安静にしているだけの治療でした。それが、カテーテル手術によって、急性心筋梗塞なら、ほとんどの人を助けられるようになりました。そのように治せる病気の領域が広がってきました。しかし、それでも超高齢化社会の患者の増加には追いつきません。

医師を増やそうとしても限度がありますし、医療費は財政を圧迫していきます。国も予防に努めることを政策として打ち出していて、医療の側にもより早い治療を求めています。その時に臨床検査技師のニーズが急激に増えていくのです。

各種の検査には、`侵襲的、なもの`と`非侵襲的、なもの`があります。侵襲的というのは体内に器具を入れますので、痛みを伴うことになります。

それに対して非侵襲的なものとは、超音波（エコー）を使った内臓の検査やCTでの血管の画像撮影などです。こうした非侵襲的な検査は、痛みがないので、繰り返すことが可能になります。定期的な検査ができるということは、それだけで病気の予防につながることになるわけです。

検査というのは医療機関に来なければできません。大

抵の人が、何らかの異常を感じてから病院を訪れるはずですが、それは、検査も含めて、どうしても面倒に感じてしまうからでしょうし、敷居が高くなってしまいます。検査が受けやすくなり、敷居を低くすることで、自分の体から発せられる異常のシグナルに敏感になるはずですが、

そのためには、検査の専門家である臨床検査技師が分かりやすい検査の説明と相談が必要となります。ひいては「将来の臨床検査技師業務への足がかり」になると考えます。また、病気は細胞の変化から生じています。細胞における微細な変化を把握する技術革新は目覚ましく、検体検査部門の新たな時代が開けると考えます。

画像部門においては機器の性能がアップして、一気に普及しました。今や、医師も画像データなしでは診断も治療も出来なくなっているほどです。

そのようにして検査されたデータは、たとえばスマートフォンを使って患者も医師も共有することが可能です。今後のチーム医療というのは、医療従事者だけがチームを組んで病気に対峙するのではなく、患者もその家族も、また地域をも巻き込んだチームにならないといけないと思っています。そうした時代の気運は、今後、さらに強まっていくでしょう。

森ノ宮医療大学 臨床検査学科
教授 脇 英彦

渉外部特集

Report

府民公開講座「平成29年度 HIV 予防啓発講演会」

平成29年11月18日（土）大阪医療技術学園専門学校にて、「平成29年度 HIV 予防啓発講演会」が開催されました。大阪府健康医療部 桧山 智香子 先生 には「HIV 感染症の現状や予防」というテーマで、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 森 治代 先生 には「HIV 感染症の検査と治療」というテーマで、とてもわかりやすくご講演いただきました。会員・大阪医療技術学園専門学校 学生 ・ 一般の方約100名のご参加をいただき、盛会に終えることができました。



HIV やエイズについて授業でも勉強していましたが、改めて深く理解する事ができました。

桧山先生のお話では、今、日本や大阪でHIV 感染者やエイズ患者が増えている現状やその原因についてとてもよく分かりました。また、森先生のお話では日本のHIV 検査について外国に比べ認可が遅いということを知りました。今回の講演を聴講し、HIV やエイズについて、まだまだ知らない事が多くあることに気付かされました。自分には関係ないと思っていても危険があること、知らずのうちに感染し、それを広めている可能性もあるということは本当に恐ろしい事であり、また、患者1人당りに国が負担する金額を考えると、1人でも患者を減らしていくことが重要だと思いました。今後、自分が臨床検査技師としてできることがないか、考えていきたいと思っています。

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科 1 年 辻 真由

今回の講演会で日本では感染者が増えていることや、どのような検査をしているかを知ることができ、HIV について考える良い機会となりました。中学・高校の保健体育の授業でもエイズについて学んだ際、間違った知識を持った人が沢山いるため、正しい知識を広めていかなければならない、という話を聞きました。講演会で



は、完治は出来なくても薬で発症を抑えられることや、薬の量も以前よりかなり少なくなっているなど、新しく知った事が多くありました。私自身、HIV に対し、治らない、罹ったら死ぬといった偏った印象をいつの間にか持っていたのかもしれませんが、皆が正しい知識を持つことこそが最大の予防策であり、感染減少への重要な手段であると改めて思いました。もっと沢山の人の関心を持って知ってもらい、誰の身近でも起こっていることなのだ意識してもらいたいと思いました。

大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科 1 年
山岡 夏子



全国「検査と健康展」in 大阪 MBSラジオ秋まつり2017 大臨技ブース

平成29年11月3日(金・祝) 10:00~16:30 長居公園自由広場において本年度も、長居公園において全国「検査と健康展」in大阪MBSラジオが開催され、多くの市民の皆様が参加していただきました。ご協力いただきました会員の皆様ありがとうございました。今回、スタッフとして参加していただいた認定認知症領域検査技師 大井 茂昭氏に当日の様子を寄稿していただきましたので、報告いたします。(渉外部 清水 隆之)



快晴の中、全国「検査と健康展」in大阪 MBSラジオのイベント「秋まつり2017」が長居公園にて開催された。37,800人と多数来場の中、大臨技では簡易検査(非侵襲的ヘモグロビン測定、細胞年齢測定、物忘れチェック)、臨床検査の相談ブースを設営した。

また臨床検査ポスターの展示、臨床検査関連リーフレットの配布、さらに大臨技会長のユーモラスなトークショーを交えながら、臨床検査技師の仕事やその内容、認知症(物忘れチェック)をアピールした。

簡易検査を受けられた方は非侵襲的ヘモグロビン測定・細胞年齢測定318人、臨床検査相談97人、物忘れチェック

97人であった。健康や認知症に多くの方が関心を持たれ、とくに物忘れブースでは約5%の方が「物忘れが始まっている疑い」が示唆される結果であった。

今後、高齢化が益々進む中、認知症を正しく知り、早期発見、早期対処することが重要な課題であるとする。

大阪府済生会中津病院 認定認知症領域検査技師 大井 茂昭



第34回 吹田市みんなの健康展

平成29年9月9日(土) 暑さの残る中、吹田市みんなの健康展が開催されました。

今年の大臨技が担当する検査体験コーナーは、簡易血中ヘモグロビン濃度測定と市民検診などで行われている大腸がん検診受診率向上のため、大腸がん啓発を行いました。



ヘモグロビン検査の結果から、貧血の有無・出血・消化管出血・大腸の出血・大腸がんを話を広げようと考えました。大腸がん啓発のためパンフレット・ポスター・トイレペーパー

(大腸がんについてのクイズが印刷されている)を準備し、ヘモグロビン検査後、結果説明と大腸がんについてお話ししました。便の潜血検査を毎年受けられている市民は少なかった印象で、健康展での啓発活動は病気の早期

発見の重要な位置にあり、今後はもっと健康

でいられるための検査・啓発が必要だと感じました。

今年は1日開催で時間があつたため、開会式にも参加させてもらいました。吹田市はこれから2・3年で国立循環器病研究センター・吹田市民病院の移転があり、市民の皆様の医療についての期待が大きく、健康展の役割も大きいのではないのでしょうか。

今年も多くボランティアの方のおかげで大盛況のうちに終了することができました。本当にありがとうございました。

検査体験コーナーは市民の方からの期待も大きいため、ボランティアの皆様のご協力なしには成り立ちませんので、来年も多くの方のご参加をお待ちしています。

第34回 吹田市みんなの健康展の実行委員

MIクリニック 岩津 浩子/済生会吹田病院 磯田 智史

府民公開講座「第13回 府民健康フォーラム」



平成29年11月12日(日)、大阪梅田・ブリーゼプラザ小ホールにおきまして、第13回「府民健康フォーラム」が(公社)大阪府臨床検査技師会・(一社)大阪府薬剤師会・(公社)大阪府栄養士会の3団体による主催で開催されました。

今年は、「健康寿命延伸のために～ロコモ(ロコモティブシンドローム)、フレイルを防ぐ～」をテーマに行われました。最初に(一社)大阪府医師会会長 茂松茂人先生に「健康長寿延伸のためのロコモ・フレイルを知ろう」と題し基調講演をしていただきました。当会からは、大阪医科大学附属病院中央検査部 繁 正志氏に「高齢者の臨床検査」と題し、高齢者では日常生活の行動能力の違いが臨床検査値に影響を及ぼし個人差が大きくなること、成人の基準値をそのまま用いて判断できない検査もあることなどを御話頂きました。また、薬剤師会からは「ロ



コモティブシンドローム・フレイルを漢方的に考える」、栄養士会からは「ロコモ・フレイル予防のための食事で大切なこと」と題し、講演いただきました。参加された府民の皆さんは各講師の講演に対し熱心に聞き入っておられ、ロコモ・フレイルについて理解を深められたと思います。

フォーラム参加者数は臨床検査技師会47名、薬剤師会117名、栄養士会91名、一般36名、総数291名でした。

今後とも大阪府臨床検査技師会では、大阪府薬剤師会・大阪府栄養士会との交流を深め、府民健康フォーラムを継続していく所存ですので、会員の皆様の積極的なご支援・ご参加をお願いいたします。

渉外部 岡本 秀雄

大臨技事務局からのお知らせ

当会は日臨技と大臨技の両会への入会を推奨します！
会員の皆様に対し、大臨技は身近な教育により、日臨技は学会や認定技師制度などを通じ、それぞれの立場から人材育成や職域拡大の役割を担います。

■ !重要!なお知らせ 「大臨技会員資格」について

※大臨技会員になるには、下記の条件を必要としますので、必ずご確認ください。

第3章 会員

(会員の資格)

第3条 この会の正会員は、原則として大阪府内の施設に勤務するか、もしくは大阪府を現住所とする。

2 この会以外の都道府県臨床(衛生)検査技師会に所属する者が、この会へ重複して入会を希望した場合、この会の正会員となることができる。

(「公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 組織運営規程」より抜粋)

■ 平成29年度「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」(「大臨技のみ会員」専用)について【重要】

・平成29年度の募集(受付)は7月20日をもちまして終了いたしました。

※【重要】当会による保険の斡旋は、今年度を持ちまして終了いたします。平成30年度からは保険の斡旋は行いませんので、ご了承ください。

■ 平成30年度「年会費」納入について

日臨技・大臨技の両方に入会されている方と、大臨技のみに入会されている方では会費の金額や納入方法が違いますので、ご注意ください。

※【重要】詳細は、大臨技ニュース12月号に同送しました「会費納入案内」または大臨技ホームページをご確認ください。

日臨技・大臨技の両方に入会されている方は、日臨技へお問合せください。

1. 日臨技および大臨技に入会されている方

日臨技年会費10,000円と大臨技年会費5,000円を合算した15,000円が、日臨技に登録の口座から2018年2月27日に自動引落しされます。

2. 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備付の「払込取扱票」(白地に青枠の用紙)に必要事項を記入し、大臨技年会費5,000円をお振込みください。

※2018年3月31日(必着)までに会費を納入されましたら、平成30年度大臨技会員証を4月末頃に発送いたします。4月以降に納入された場合は7月末頃に発送いたします。

3. 平成30年度より、大臨技のみ会員から日臨技にも入会される方

詳細は日臨技へお問い合わせの上、ご対応ください。

4. 重複会員について

詳細は、当会事務局までお問い合わせください。

■ 平成29年度大臨技会員証について

今年度の会員証について、10月の発行を持ちまして終了いたしました。

*10月以降に会費納入された方には、「会員登録証明ハガキ」を会員証の代わりといたします。

※「会員登録証明ハガキ」が届くまでの間に勉強会等に参加される場合は、会費をお振込みされた時の受領証を会員証代わりにご使用ください。

日臨技にも入会されている方は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」から領収証を発行できますので、その領収証をご使用ください。

■ 会員証の再発行について

紛失等により再発行を希望される場合は、大臨技ホームページより「大臨技会員証再発行申請書」をダウンロードし必要事項を記入のうえ、大臨技事務局に届けると共に、再発行費500円を郵便局より納入してください。申請書と再発行費の入金確認後、発行します。再発行日程は、会員証発行日程に準じます。10月以降に申請された場合は、「会員登録証明ハガキ」を会員証の代わりといたします。

■ 臨床検査技師免許申請中の新入会員の方へ

臨床検査技師免許の取得後、速やかに大臨技ホームページより「臨床検査技師免許証番号 届出書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、当会事務局まで提出してください。届出後、正会員として正式登録いたします。

※【重要】届出が無い場合は、平成30年3月31日付けで除籍扱いとなります。

■ 施設・技師会・住所等の変更について

所属施設や所属技師会の変更、転居による住所の変更などが生じた場合、速やかに大臨技ホームページより「会員異動届」「施設登録用紙」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、速やかに当会事務局まで提出してください。日臨技にも入会されている方は、日臨技ホームページの「会員専用ページ」にて、ご自身で変更していただけます。送付先が不明な場合、大臨技ニュース等の送付物が届かなくなります。

■ 大臨技退会申請について

平成29年度末で大臨技を退会される方は、平成30年3月31日(必着)迄に退会申請を行ってください。大臨技ホームページより「退会届」をダウンロードし、必要事項を記入の上、大臨技事務局まで提出してください。

※【重要】日臨技・大臨技の両方を退会される方は、日臨技と大臨技の両会に退会の申請を行ってください。日臨技ホームページの「会員専用ページ」にて退会手続きされる時は、大臨技も同時に退会手続きをしてください。日臨技だけに退会申請しても、大臨技も同時退会した事にはなりませんのでご注意ください。

質問・ご不明な点がございましたら、当会事務局までご連絡ください。

大臨技理事会報告 Executive board report

平成29年度 第9回(11月9日)開催分

1. 平成30年1月8日(月)に開催する新年互礼会について詳細の確認を行った。
2. 当会の入会費(2,000円)は、初回のみ徴収し、再入会の時は徴収しないこととした。

開催行事予告編

詳細は次号に掲載いたします。

事業名 / 日時・会場	内容	評価点	参加費
冬季献血推進活動 平成30年2月17日（土） 10:00～16:30 京橋駅前広場 （JR京橋駅-京阪京橋駅 連絡通路 付近）	献血 および 市民の皆様への協力呼びかけ	基礎-20	無料
多職種公開講座 糖尿病療養指導部会 定例勉強会 平成30年2月20日（火） 19:00～20:30 大阪医療技術学園専門学校 2 階大教室	1. 「糖尿病の基礎知識のまとめ」 講師：関西電力病院 臨床検査部 坂口 健治 2. 「検査説明業務実施までの道のり ～当院のケース～」 講師：府中病院 臨床検査室 谷川 崇	基礎-20	500円（一律）
日臨技推進事業 輸血検査部門 輸血セミナー2018 平成30年2月25日（日） 10:00～16:00 大阪医科大学看護学部 看護学科講堂	講演 5 題予定	専門-20	会員3,000円 非会員5,000円



真空密封型採血管

ネオチューブ®

急速凝固用(RC-ST)

医療機器認証番号 219AABZX00154000

凝固時間 約3分 （当社比） 迅速検査に最適。

ネオチューブRC-ST の特長

- 凝固時間 約3分 を実現（当社従来品比マイナス2分）することで大幅に検査の所要時間を短縮。
- RC-Sタイプの急速凝固剤トロンビン、トロンビン様酵素に、凝固促進剤セライトを追加することによってトリプルの凝固促進効果を発揮、採血後の大幅な凝固時間の短縮、遠心分離後のフィブリン析出を防止。
- 検査の所要時間（Turn Around Time）を大幅に短縮することで短時間で検査結果報告が可能。



（資料請求先） 製造販売

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号

2016年7月 作成

皆様のご意見、情報等お待ちしております。
 FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp
 郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成30年2月号の原稿メ切は**12月29日（金）**、3月号は**平成30年2月1日（木）**です。